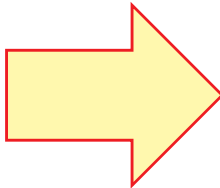


便益の考え方 (① 輸送能力増大に伴う輸送コスト削減効果)

① 輸送能力増大に伴う輸送コスト削減効果 フェリーの輸送能力増大に伴い、翌日便に振り替えることなく当日便のフェリーを利用できることにより、輸送時間が短縮され、フェリー貨物の時間費用が削減される。

Without (整備なし) 時：
次便 (翌日便) (水深8.0m) を利用

With (整備あり) 時：
当日便 (水深9.0m) を利用



646万トン/年のフェリー貨物のうち、翌日便に振り替えられる貨物52万トン/年を翌日便で輸送。これに伴い、24時間分の時間費用755.7百万円/年 (例えば、農水産品の場合、76円/トン・時を貨物量に乗じる) が発生する。※この他、6品目がある。

646万トン/年のフェリー貨物のうち、without時に翌日便に振り替えられる貨物52万トン/年は当日便で輸送可能となり、余分な時間費用が発生しない。

輸送コスト **7.6** 億円/年

単年度便益 **7.6** 億円/年

輸送コスト **0.0** 億円/年

内容	単年度便益	Without時	With時
① 輸送能力増大に伴う輸送コスト削減効果	7.6億円/年	岸壁 (水深8.0m) を利用し、翌日便に振り替え	岸壁 (水深9.0m) を利用し、当日便で輸送